



昭和 25 年に創業、山林経営からスタートして
今年 73 年目を迎える株式会社 大三商行。
木材のスペシャリストとして
プレカット加工から木造建築まで手掛けている企業です。
脱炭素社会へと進む中、再生可能な資源である木材の可能性を広げる。
高い壁が立ちはだかっても、挑み続けることを使命として
そこに住む人の幸せを思うこと。
「木」と「人」に向き合うこと。
私たちが長年かけて培ってきた大三商行のポリシーを
会社の様子と共にお伝えします。

木材の可能性。その先へ

DAISANSHOKO POLICY

わたしたちが 大三商行 です



山林経営からスタートした大三商行は、時代と共に業容を変化させながら、今日まで成長してきました。創業の地である岡山、関東一円への供給拠点となる千葉、そしてスギ素材生産量日本一である宮崎の3カ所に製造拠点を構え、木材調達、製造、構造計画から機械加工、建設工事までトータルでサポートできるのが我々の強みです。我が社の歴史にはいつも「木」があり、木を通して「人」との繋がりを紡いできました。商いとは、人と向き合うことに本質がある——誰よりも真面目に、誰よりも丁寧に。スタッフ全員がプロとしての矜持を持って、人と地球に優しい、再生可能資源である木材のポテンシャルを最大限に活かし、木材のプロとして「気の合う仲間と木で作る新しい価値」を創造しています。

DAISANSHOKO POLICY

気の合う仲間と
木で作る新しい価値



DAISANSHOKO POLICY

木材のプロとして 木材建築の可能性を追求



世界が「脱炭素社会」を推進する現在、木材の価値が改めて見つめ直されています。
建築資材として唯一の再生可能な資源である木材。

大三商行は、一般住宅はもちろん、商業施設や教育施設など、非住宅分野での木造化を標榜してきました。
従来、鉄骨や鉄筋コンクリートでしか作れないと言われていた大規模空間を、木造で作る取り組みにチャレンジ。
試行錯誤を繰り返し、高い壁を幾度も乗り越え、多様な建築物に我が社の木材が使用されるようになっていきます。
木材の加工技術には高いスキルが求められます。

伏図の作成から機械加工、熟練職人の手加工まで、一貫して担う大三商行にしか出来ないこと。
これからも、木材のプロとして、総力を結集し「木材の可能性その先へ」挑戦を続けてまいります。

DAISANSHOKO ATTEMPT

大三商行が取り組む 4つの“SDGs”

1. 森林循環への貢献

合法に伐採された木材のみを使用し、「木材のプロ」としての確かな技術と品質を提供。多様化する木材加工ニーズに柔軟に対応し、新たな需要の創出に努めることで、森林資源の循環利用に貢献します。



2. 環境保全

自社工場のLED化や太陽光発電、端材の再利用を通じて環境負荷の低減を実践。従業員一人ひとりが環境保全意識を高く持ち、持続可能社会の実現に取り組んでいます。



3. 人材育成・技能の伝承

安全への取組を積極的に行うと共に、熟練工の木材加工技術の伝承等、各種研修体制の整備を実施し、「働きやすい」、「働きがいのある」魅力ある職場づくりを目指していきます。



4. 社会貢献・地域交流

地域資源の有効活用、大学など研究機関との連携等を通じ、豊かな森林の保護に貢献。地域貢献活動の一環としてサッカーJ2「ファジアーノ岡山」とクラブスポンサー契約を結び活動に協力します。

